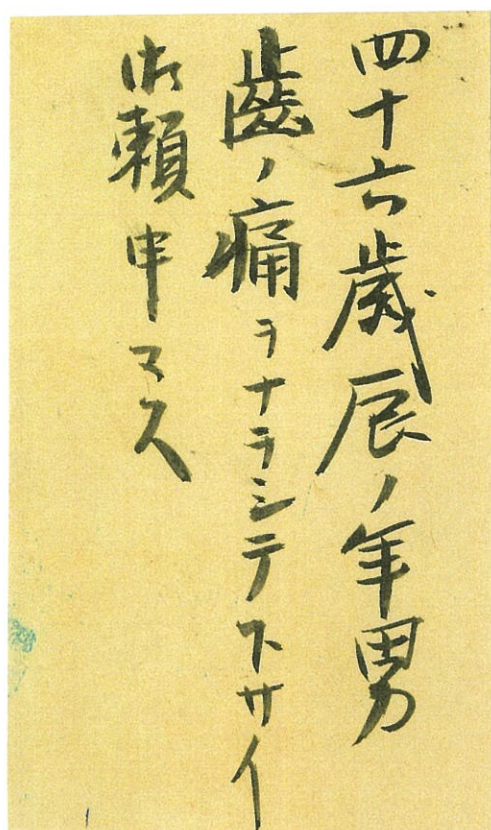




神様宛てのはがきというのは何ともユニークです。今の福井県小浜から
大正14年5月11日に差し出され、武州（武蔵国）の神様に宛てています。

差出人の山田某は、1880年（明治13年）辰年生まれの数え46才の男性。
よほど歯の痛みに苦しんでいたのでしょう。同情致します。しかし、大正
14年ともなれば小浜、或いは福井県の他の市にも歯医者があったはずで

そんなに歯医者に行くのが怖くてイヤだったのか、神様にお願いして
（それも1銭5厘のはがきで！）楽に歯痛を治してもらおうと考えたのか。

はがき表面上部には付箋を剥がした跡があります。その付箋には「宛所
不明につき返送…」と書かれていたのは間違いなく、差出人の願いは残念
ながら届かず、当然、歯痛も治らなかったことでしょう。お大事に…。

（記：藤岡 靖朝〈日本郵楽会会員〉）